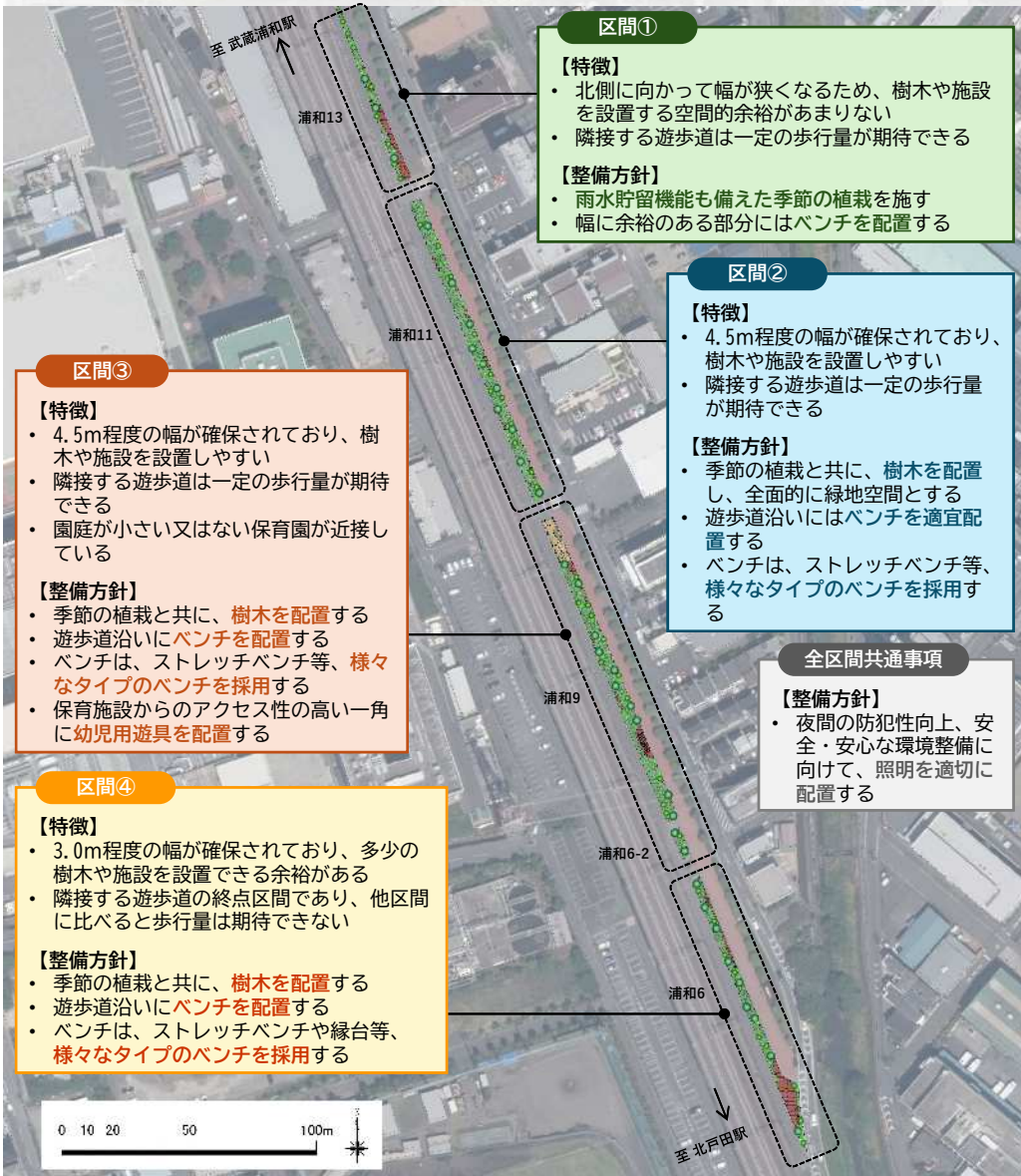


浦和6、浦和6-2・9、浦和11、浦和13 整備基本計画

整備コンセプト

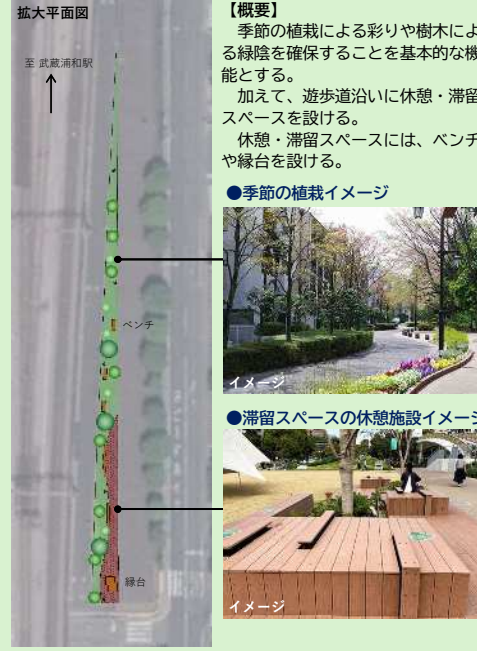
休憩・遊び機能も備えた地域に親しまれる緑地空間

各区間の整備方針



各区間の整備基本計画

区間① 季節の植栽と休憩・滞留機能を備えた空間



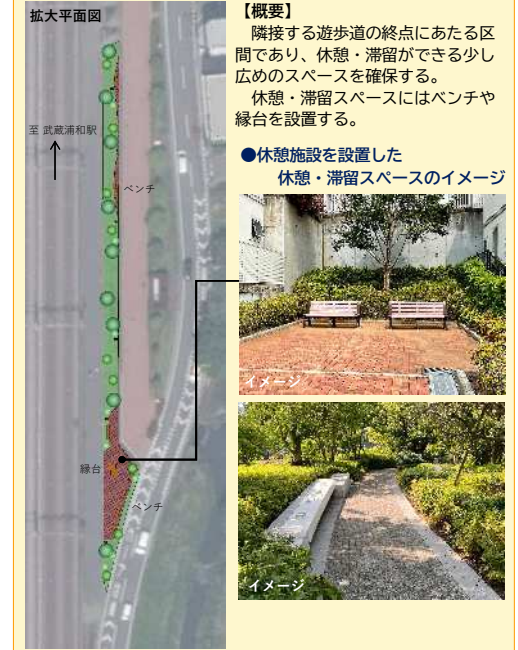
区間② 緑陰と休憩・広場機能を備えた緑地空間



区間③ 緑陰と遊び機能を有する緑地空間



区間④ 緑陰と休憩機能を備えた滞留空間



浦和42・44、浦和47 整備基本計画

整備コンセプト

【浦和42・44】遊びと健康促進機能を備えた安全で快適な歩行空間

【浦和47】隣接する西堀高沼公園との機能分担、相乗効果を踏まえた遊び・憩いの空間

各区間の整備方針



各区間の整備基本計画

全区間で共通する内容

<p>●安心して歩ける市道沿いの歩行空間のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●敷地内の見通しを確保した植栽のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●夜間の防犯性にも配慮した照明のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●敷地外への雨水流出を防止する雨水浸透施設のイメージ</p>  <p>イメージ 雨水を浸透する 砕石側溝</p>
---	---	---	--

浦和42・44

【概要】

市道に隣接する細長い形状の区間である。

アンケート結果を踏まえて、安全・安心して歩ける歩行空間の確保を当該区間の基本的な機能とする。具体的には、隣接する市道に歩道がないことから、各区間内の市道沿いに歩行空間を連続して設けることとする。

加えて、多目的に使える草地広場、近隣の保育施設からの利用も想定した乳幼児用の遊具広場、散歩時などに軽い運動やストレッチができる健康遊具を配置した広場等、様々な世代が利用できる空間を検討する。

- 多目的に使える草地広場のイメージ
- 遊具広場のイメージ
- 運動やストレッチ等ができる健康遊具広場のイメージ

浦和47

【概要】

西堀高沼公園に隣接する区間であり、公園との機能分担や相乗効果を考慮した計画とする。

西堀高沼公園にある遊具が幼児用を主体とした内容であることを踏まえ、当該区間には小学生の利用を主に想定した遊具の配置を検討する。（利用年齢層を公園と分けることで、年齢層の混在を緩和する。）

また、周辺に住居がなく、騒音の心配が比較的に少ない北側のエリアには、バスケットボール等のボール遊びができるエリアを設けることを検討する。

なお、ボール遊びエリアは、アンケートにて複数のゴールのニーズがあったことから、小学生用と大人用の2タイプのコートを設けることを検討する。

なお、当該区間に隣接する市道に歩道がないことから、区間内の市道沿いに歩行空間を連続して設けることとする。

- バスケットボール等の利用を想定したエリアのイメージ
- 小学生の利用を主に想定した遊具広場のイメージ

浦和48・49・51・52、浦和53 整備基本計画

整備コンセプト

〔浦和48・49・51・52〕 豊かなみどりが連続する安全で快適な歩行空間
〔浦和53〕 地域の健康増進に寄与するウェルネスパーク

各区間の整備方針



各区間の整備基本計画

全区間で共通する内容

<p>●安心して歩ける市道沿いの歩行空間のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●敷地内の見通しを確保した植栽のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●夜間の防犯性にも配慮した照明のイメージ</p>  <p>イメージ</p>	<p>●敷地外への雨水流出を防止する雨水浸透施設のイメージ</p>  <p>イメージ 雨水を浸透する 砕石側溝</p>
---	---	---	--

浦和48・49・51・52



浦和53



与野1、与野2、与野3、浦和54、浦和55、浦和55-2 整備基本計画

各区間の整備方針

【特徴】

- ・ 幅員約15～20m、延長約300mの細長い形状をしている
- ・ 敷地全域に樹木が植えられている
- ・ 敷地内には緩やかな起伏があり、高架沿いには素掘側溝が設置されている

【整備方針】

- ・ 樹木の現状維持を基本として計画する
- ・ 現地調査の結果を踏まえて、傾斜が緩やかな方向に園路を計画する
- ・ 園路幅員は1.5mを基本として設定する
※ 2人が並んで通行でき、かつ車いす利用者の回転を想定すると、1.5m程度の幅員確保が望ましいため)
- ・ 舗装は土系舗装を想定する



与野18-1、与野19-1 整備基本計画

整備コンセプト

“やすらぎや遊びの空間”をつなぐ緑のフロムナード

各区間の整備方針

全区間の共通事項

【整備方針】

- ・ 死角を作らないようにし、敷地内の見通しを確保する
- ・ 夜間照明を適切に配置し、夜間の防犯性向上、安全・安心な環境を創出する
- ・ 車いす利用者やベビーカー利用者に配慮したバリアフリー空間とする
- ・ 四季が楽しめるよう、季節の植栽を計画する

与野18-1

【特徴】

- ・ 14m程度の幅があり、樹木や施設を設置する余裕がある
- ・ 園庭の小さい保育園や老人福祉施設が近接する
- ・ 小井戸児童遊園地が隣接する

【整備方針】

- ・ 季節の植栽と共に、**樹木を配置**する
- ・ 敷地内の見通しに配慮し、西側市道沿いには**地被類と視線の通りやすい高木を植栽**する
- ・ 遊歩道沿いや植栽帯沿いに**ベンチを配置**する
- ・ ベンチは、プランターと一体となったベンチや縁台等、**様々なタイプのベンチを採用**する
- ・ 車いす利用者や介助者、乳幼児連れのベビーカー利用者等が安全・安心に利用できる**遊びの広場とその見守りスペース**の配置を検討する
- ・ 隣接する**児童遊園地と一体となった遊び空間**を創出する

与野19-1

【特徴】

- ・ 14m程度の幅があり、樹木や施設を設置する余裕がある
- ・ 園庭の小さい保育園や老人福祉施設が近接する

【整備方針】

- ・ 季節の植栽と共に、**市民花壇の配置**を検討する
- ・ 遊歩道や植栽帯沿いに**ベンチを配置**する
- ・ ベンチは、ストレッチベンチやプランターと一体となったベンチ等、**様々なタイプのベンチを採用**する
- ・ 車いす利用者や介助者、乳幼児連れのベビーカー利用者等が安全・安心に利用できる**緑地広場**として、**休憩広場や築山広場のほか、多目的に利用できる草地広場の配置**を検討する

各区間の整備基本計画

全区間で共通する内容

●敷地内の見通しを確保した植栽のイメージ



●夜間の防犯性にも配慮した照明のイメージ



●車いす利用者等に配慮した園路のイメージ



●季節感を感じる植栽のイメージ



各区間の内容

与野19-1

【概要】

市道に隣接する幅14m、延長45mの細長い形状の区間である。アンケート結果を踏まえ、植栽や市民花壇を設けることで季節の移ろいを楽しみながら安全・安心に歩ける歩行空間を創出する。加えて、近隣の福祉施設利用者や保育施設利用者による利用も想定した休憩広場を検討する。具体的には、車いす利用者等も利用できるストレッチ機能の付いたベンチの配置を検討する。また、休憩・滞留スペース確保のため、パーゴラを設置し快適性の向上を図る。このほか、乳幼児が遊べる築山広場や多目的に利用できる草地広場等、多世代が利用できる空間を検討する。なお、アンケート結果を踏まえて、休憩広場内には健康者・障害者双方が利用できる健康遊具の設置を想定する。

●休憩広場のイメージ



●市民花壇とベンチのイメージ



●草地広場のイメージ



与野18-1

【概要】

小井戸児童遊園地に隣接する区間であり、一体的な利用による相乗効果を考慮した計画とする。小井戸児童遊園地にある滑り台が児童用であること、また近接する与野中央公園内にある遊具も主として児童用であることを踏まえ、当該区間には遊びの広場として幼児利用を主に想定した遊具の配置を検討する。（利用年齢層を小井戸児童遊園地や与野中央公園と分けることで、年齢層の混在を緩和する。）遊びの広場の南北にはベンチを配置し、ベビーカー等の利用者でも利用しやすい見守りスペースを確保する。また、児童遊園地には児童用の遊具（ブランコ、ステップ）を追加して機能強化を図るとともに、高架下の日陰空間である特性を活かしてベンチを設置し、休憩・見守り機能を充実させる。

●遊びの広場のイメージ



●見守りスペースのイメージ



●植栽帯とベンチのイメージ

